

さて、愛子ちゃんの家で、この“漢字遊び”について、やり方から注意に至るまで、よく説明してやって帰宅したのですが、間もなく次のような嬉しい手紙が届きました。

実施第一日目の報告(7月7日)

拝啓、昨日はいろいろと御親切にお教え下さいまして、本当に有難うございました。(中略)さっそく、本日、“足”を教えましたところ、午前中に2セット、午後3セット、日曜日なので私がやりました。

4セット目の時、私が“足”のカードを見せると、私が読むよりも先に“あし”と読みました。5セット目も同じで、私が言うよりも先に“あし”と読みますので、家内と驚いています。

一日で1字覚えることができたことを、非常に喜んでいます。毎日、どうしたものかと、夜も眠れない日が時々ありましたが、今日でそのことが吹き飛んで、元気が出てきました。

遅れているから、劣っているからと言って悲観せず、明日という日を信じて努力したいと思っています。

実は、私が訪問した7月6日までに、私の送った著書を頼りに、“目”と“手”とをすでに教えており、愛子ちゃんはこの2字が読めるようになっていたのです。しかし、7月6日の話し合いで、『書物を読んだだけでは、正しい指導の仕方はなかなか理解できない』ことがわかり、この種の本の書き方のむずかしいことを思い知らされました。

でも、一応本を読んでもらった上で説明した方が、よくわかりやすいということも感じました。ともあれ、7月7日の愛子ちゃんの漢字遊びは、第三日目の形で行なわれたわけで、しかもそれは順調に受け入れられたようです。

この手紙で特に注目して頂きたいことは、「かなは一年かかっても1字も覚えなかった愛子ちゃんが、漢字は一日で1字、確かに覚えらる」という事実です。